

会期：平成20年10月4日（土）～ 11月24日（月・祝日）

## 開催にあたって

平成16年、御所市において二光寺廃寺の発掘調査がおこなわれました。その際出土した、仏の姿を粘土板上に浮き上がらせた埴仏の数々は、良好な保存状態をたもっており、その美しさで世間の耳目を集めました。

二光寺廃寺の例に限らず、葛城地域は埴仏の出土する古代寺院が数多く分布しています。葛城市においても当麻寺、石光寺、只塚廃寺、加守廃寺といった古代寺院から、同様のものが出土していることは、実はあまり知られていないのではないのでしょうか。

今回の展示会では、これら市内出土の埴仏の紹介にとどまらず、奈良県内外で出土している埴仏のうち、優品を集めて展示をおこないます。

展示会タイトルは「輝く美の埴仏」としました。埴仏の美しさは、展示資料を見ていただければ十分おわかりになると思います。また、冒頭に「輝く」としたのは二つの意味があります。埴仏の多くは、本来金箔が貼られ金色に輝いていました。まずはその部分を暗示したいと思いました。次に、埴仏が使用された白鳳時代に思いを馳せた時、当時の人々が祈りの対象としてのみならず、大陸風の先端装飾品としてなど、さまざまな感慨をもって見つめていたであろうということが想像されました。ただ見た目が金色に輝くという意味だけでなく、いろいろな意味で輝いていたのではないかと、そういった想像も含めてこの「輝く」という言葉をいれてみました。

皆様の目の前にある埴仏は、金色の輝きを失ってはいます。しかし、時代を超えて心の中での輝きを感じていただければ幸いです。

## 展示構成

## 主な展示品

I. 埴仏の世界	夏見廃寺	出土埴仏一式	（名張市教育委員会蔵）
II. 二光寺廃寺	川原寺裏山遺跡	出土埴仏	（明日香村教育委員会蔵）
III. 葛城の埴仏	二光寺廃寺	出土埴仏一式	（奈良県立橿原考古学研究所蔵）
IV. 埴仏の源流	只塚廃寺	十二尊連坐埴仏	（奈良県立橿原考古学研究所附属博物館蔵）

ほか

## 関連行事

特別展記念講演会（第1回）  
平成20年10月11日（土）午後2時  
「葛城の埴仏と二光寺廃寺の金堂」  
廣岡孝信氏（奈良県立橿原考古学研究所主任研究員）

特別展記念講演会（第2回）  
平成20年11月8日（土）午後2時  
「埴仏の源流 ―中国・朝鮮半島の埴仏―」  
清水昭博氏（奈良県立橿原考古学研究所主任研究員）

## 開館情報

休館日： 毎週火曜日、第2・4水曜日  
開館時間： 午前9時～午後5時  
（最終入館は午後4時30分まで）  
入館料： 一般 200（160）円  
高校・大学生 100（80）円  
小・中学生 50（40）円  
○ 内は20名以上の団体料金



葛城市歴史博物館

〒639-2123 奈良県葛城市忍海250番地1  
TEL 0745 (64) 1414 FAX 0745 (62) 1661